



事業報告書 2014

賛助会員 2014



目次

3	会頭メッセージ	
4	在日フランス商工会議所とは	37
5	2014年の主要な出来事	38
8	2015年度計画	40
	1. 組織	41
9	1.1. 理事会	42
10	1.2. 委員会	
11	1.3. 在日フランス商工会議所スタッフ	
12	1.4. 名誉委員会	
	2. メンバーシップ	43
13	2.1. 総括	44
14	2.2. 2014年の活動内容	45
15	2.3. 賛助会員の推移	45
16	2.4. 2014年度の新入会員	46
17	2.5. 東京以外の活動(地方における活動)	
	3. イベント	47
19	3.1. 総括	49
20	3.2. イベントの種類	
20	3.3. 2014年のVPスピーカー	
21	3.4. ネットワーキングイベント	
21	3.5. フレンチビジネス大賞	
22	3.6. ガラ・パーティー	
24	3.7. 委員会の活動	
27	3.8. 賛助会員向けイベントの開催	
27	3.9. シンポジウム	
28	3.10. ジョイントイベント	
29	3.11. 東京以外でのイベント	
	4. コミュニケーション	
31	4.1. 総括	
32	4.2. 雑誌「フランス・ジャポン・エコー」	
33	4.3. 会員名簿	
33	4.4. 百合と巨筒	
34	4.5. CCIFJウェブサイト	
35	4.6. フェイスブック	
35	4.7. エヴド・ドゥ・ジャポン	
36	4.8. IT関連活動	
	5. 人材開発部	
	5.1. 総括	
	5.2. 人材紹介	
	5.3. 研修セミナー	
	5.4. 人事ネットワークの活性化	
	5.5. 企業と大学の架け橋	
	6. 商務部	
	6.1. 総括	
	6.2. ミッション	
	6.3. リオン市における神戸市企業誘致 セミナー開催	
	6.4. 業務拠点提供・受け入れサービス	
	6.5. フランス領事館ネットワーク関連	
	7. パートナー	
	7.1. 欧州ビジネス協会への参加	
	7.2. 日本のパートナー、関連団体	

共に成長しましょう



2014年、日本経済はすばらしいスタートを切り、その後の変動にも関わらず、会員企業の皆様の活動は堅調で、在日フランス商工会議所にとっても会員企業の皆様と共に活発に活動した実り多い年でした。

まず、会員企業の皆様が、より効果的にビジネスを行うためのネットワーク構築の会合やイベント、セミナーを、主催、共催含め計106回開催致しました。2014年初めには、第3回フレンチ・ビジネス大賞を開催。13の欧州商工会議所と共催したヨーロッパ・カクテル・パーティーには200人を超える参加者を迎え盛況でした。

人材開発部の活動は堅調で、会員企業向けに従業員の能力を活かすためのノウハウを学ぶ人材開発セミナーに力を入れました。パリ商工会議所(CCIP)と共催で、前年に続き2回目の開催となった「グローバル・マネージャー・プログラム」や、日本人学生へのフランス企業の評判と知名度向上を目的

とした「フランス・ビジネス・キャンパス2014」を開催し、いずれも盛況裏に終了しました。

貿易においては、日本とEU間の自由貿易協定の交渉を進めることが、2014年の重要課題でした。EBC (European Business Council)の活動を通じて、在日フランス商工会議所は会員企業の関心の高さを交渉において表明しました。

フランス国内での日本市場のイメージ向上と、日本へ進出を希望するフランス中小企業への働きかけとして、フランス各地の商工会議所と在日フランス大使館企業振興部(ユビフランス)の協力により、日本ミッションのプロモーション活動を述べ25回行いました。フランス中小企業の会員は30%増加し、レンタルオフィスを拡充することで在日フランス商工会議所での受け入れ体制も強化しました。さらに、(農林水産省と連携した日系食品加工企業のフランスでの商談事業など)日本企業のフランスへの視察・商談ミッションも複数回企画しました。

2014年も東京以外での活動拡大を推進し、スタッフを一人常駐させた関西デスクの継続、5月には大阪で「第2回ガラ・パーティー関西」、6月には福岡にてシンポジウムと「第1回ガラ・パーティー福岡」を開催しました。出版活動においては、機関誌「フランス・ジャポン・エコー」の新規読者開拓に努めると共に、豪華装丁本第3弾となる「百合と巨筒(おおづつ)」を出版。そして在日フランス商工会議所のホームページ「CCIF」ウェブサイトの閲覧回数も増加した一年でした。

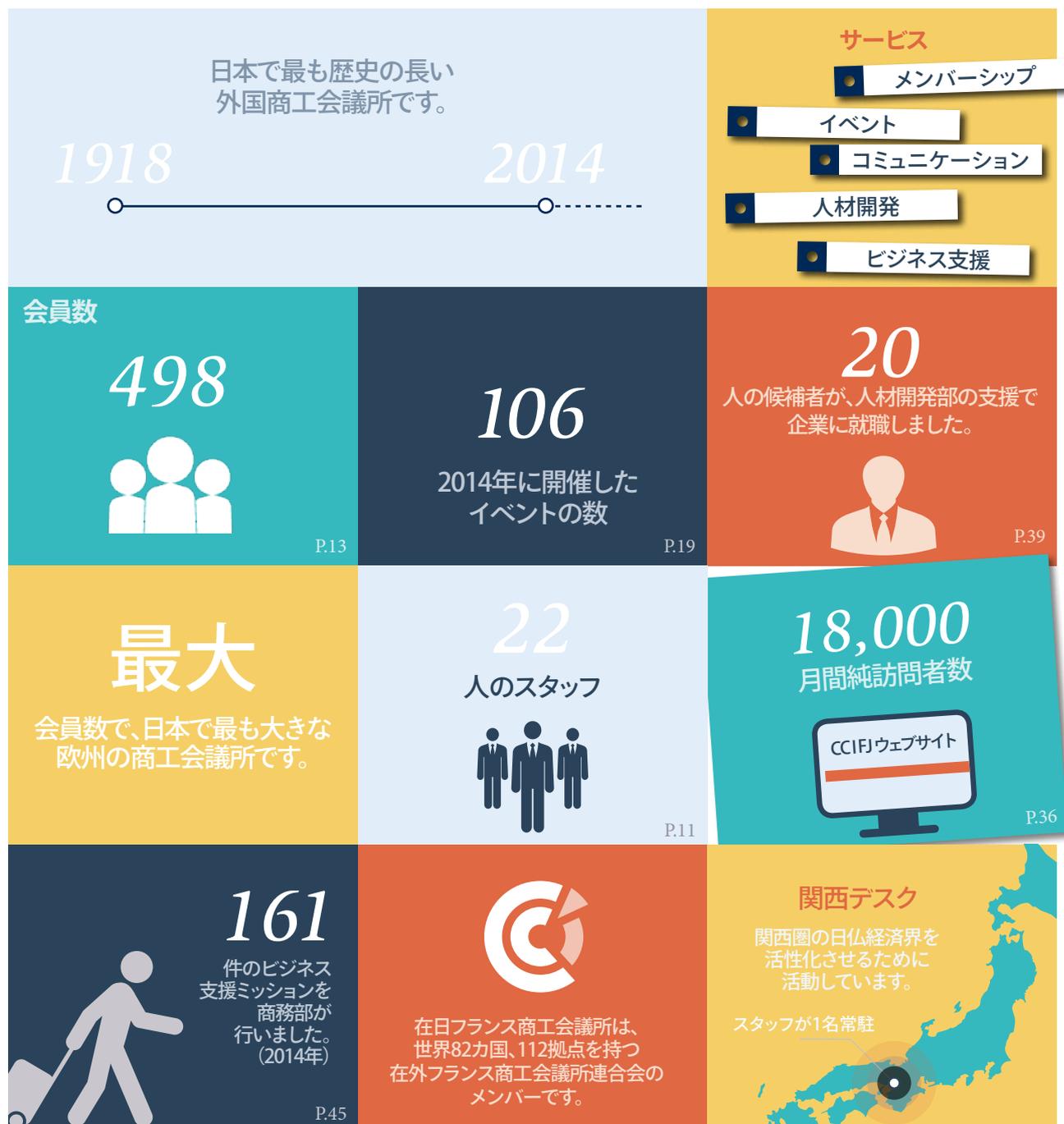
11月に開催した「2014年ガラ・パーティー東京」では、多くの方々にご参加いただき、盛会の内、商工会議所の一年を締めくくることができました。

在日フランス商工会議所は、2015年も会員企業の皆様のニーズに対応するため、積極的に活動すると共に、フランス企業が日本市場に参入できるよう尽力していく所存です。

会員企業の皆様、そして在日フランス商工会議所にとって、2015年が素晴らしい年になることを心よりお祈り申し上げます。

在日フランス商工会議所 会頭
ベルナール デルマス

在日フランス商工会議所とは



2014年の主要な出来事

● イベント ● コミュニケーション ● 人材開発 ● ビジネス支援

1月

CCIFJ 朝食会
在外フランス人議会選挙11区
ティエリー・マリアニ議員(写真:右)



フレンチビジネス大賞
日本アルカテル・ルーセント株式会社が、
2014年カンパニー・オブ・ザ・イヤーを受賞!



フランス・ジャポン・エコー
No.137, 2014 冬号
「日本の食卓を求めて」



1月14日

1月31日

2月

**伊藤忠商事株式会社 取締役会長
小林 栄三氏**を迎えての賛助会員
向け昼食会



「百合と巨筒(おおづつ)」在日フランス商工会議所発行の豪華装丁本が2014年2月発刊。クリスチャン・ボラック著書「日本とフランスの交流史」シリーズ第3弾。



2月13日

2月24日

3月

グローバル・マネジャー・プログラム2014
2回目の開催となるこのミニMBAと言える
プログラムに16名参加。参加者は、2日間の
モジュールを5回受講する。




3月31日

ピエール・モスコビシ氏
フランス財務大臣を迎えての講演会

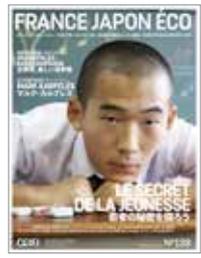


4月

ジャック・アシェンブロワ氏
ヴァレオ・グループ CEOを迎えての賛
助会員向け昼食会



フランス・ジャポン・エコー
No.138, 2014 春号
「若者の秘密を探ろう」



2014年の主要な出来事

● イベント ● コミュニケーション ● 人材開発 ● ビジネス支援

5月

5月14日 ● イベント

ノルマンディー商工会議所との連携による多業種ミッション
同地域のフランス企業10社が、日本ミッションに参加。

5月24日 | 5月26日 ● イベント

ガラ・パーティー関西 2014

6月

6月4日 ● イベント

GMPプログラム、修了証書授与式

6月9日 ● イベント

ガラ・パーティー福岡 2014

6月19日 ● イベント

会員名簿 2014

6月25日 ● イベント

人材開発委員会セミナー
テーマ:「ローパフォーマンスをいかに管理するか?」

7月 ● イベント

パトリック・アルテュス氏
ナディクシス銀行研究調査部長を迎えての講演会

8月 ● ビジネス支援

ビジネスセンター拡張
新たに6つのオフィススペースを開設

フランス・ジャポン・エコ
No.139 2014 秋号
「自動車部品メーカー」

2014年の主要な出来事

● イベント ● コミュニケーション ● 人材開発 ● ビジネス支援

9月

 **ノール商工会議所との連携によるテキスタイルミッション**
 テキスタイル関連企業8社が、ミッションに参加。

ローランス・トゥヒアナ氏
 2015年国連気候変動パリ会議特別代表を迎えるの朝食会



9月30日
 |
 10月3日

新会員向けのオリエンテーションイベント



10月7日

フレンチビジネスキャンパス2014



10月21日

10月28日

10月30日

11月

11月4日

ティエリー・ダナ駐日フランス大使を迎えるの朝食会



11月17日

11月20日

ガラ・パーティー東京
 780人が参加。ピエール・ガニエール・シエフ、指揮者ヤニック・バジェ氏と20名の交響楽団によるスペシャルクラシックコンサート



12月

 **アルザス商工会議所来日食品ミッション**
 食料加工品関連企業12社が、ミッションに参加。

フランス・ジャポン・エコ
 No.140 2014 冬号
 「起業家」



2015年度計画

2015年度は、日本と在日フランス商工会議所会員にとって前途有望なチャレンジの年となるだろう。挑戦するにあたりぶつかるであろう課題に対し、在日フランス商工会議所は引き続き会員の皆様への様々な活動を強化していく所存である。日本産業界との関係強化や在日フランス企業のイメージ向上に対する広報活動、そしてフランス国内での日本のイメージ向上の推進を基軸に邁進していく。

「日本産業界との関係強化」

在日フランス商工会議所は、会員の期待に最大限応えられるよう、皆様の声により一層耳を傾け、緊密な関係を築いていく。2015年度、より一層内容を充実させたイベントを開催し、知識交流を促進するファシリテーターの役割を担う所存である。本年度は、4月23日に福岡で開催される日仏経済フォーラムと第2回ガラ・パーティー福岡、さらに6月17日には京都で日仏経済フォーラムとガラ・パーティー関西2015の開催が予定されている。11月に東京で開催される恒例のガラ・パーティー東京とあわせて、本年のメインイベントとなる。

現会員による新会員の紹介キャンペーンを促進し、日本企業の加入数の増加に向け、新たな活動を実施する。2015年度は、会員数500達成と更なる前進を目標としている。

会員サービスの充実の一環として、人材開発部の活動を強化していく。仏・欧州のビジネス理論を学ぶ意欲のある日本人管理職を対象とした新しい研修プログラム「ゲートウェイ・トゥ・ヨーロッパ」を実施する計画である。

また、ウーマン・オン・ボード、大使館と連携してのスポーツ・イベント、ラグジュアリー、危機管理など、会員企業にとって有益なテーマ別委員会の新設を検討していく。

「広報活動」

2015年1月1日付けで、在外フランス商工会議所連合会 (CCI France International = CCIFI) に属するフランス国内外112の商工会議所と同一のロゴ、表記方法へと刷新した。このロゴを採用する全てのフランスの商工会議所が一丸となり、CCIFIネットワークとして一体感を高めていく事を目指している。

会員活動の活性化に向け、広報活動を益々強化していく。また、デジタル通信網の整備を図り、新しいオフィシャルサイトで内容・機能面の充実を続ける。機関誌「フランス・ジャポン・エコー」で、在日フランス商工会議所からのメッセージを発信、会員のサクセスストーリーを紹介して、日仏両国での同誌の普及に努めていく。さらに「第4回フレンチ・ビジネス大賞」や「フレンチビジネスキャンパス」の開催を通して、日本における会員企業の活動の可視性を高めていく。

「フランスにおける日本のイメージ」

本年度を代表する大きなイベントは、5月開催のフランス週間プロジェクト「ボンジュール フランス 2015」である。日本で「新しいフランス」を紹介することを目的に、あらゆる年齢層を対象に文化、商業、娯楽等様々なテーマ別イベントが開催される。

また、フランス貿易投資庁ービジネスフランス及び民間企業と提携して、日本国内の「フレンチ・テック」拠点の創設に協力し、ネットワーク分野においても活動を強化していく。

在日フランス商工会議所はこれからも関係者の皆様と協働して、最大限の役割を果たしていく。また、日本市場へのフランス企業誘致を効果的に行うために、フランス国内での日本市場のプロモーションおよび情報提供活動を行っていく所存である。

1. 組織

1.1. 理事会

理事会は、在日フランス商工会議所の諸活動の骨格となる方針を定め、事業が正しく遂行されているか監督する役割を担う。2014年度、理事会は10回開催された。

会頭



ベルナル・デルマス
日本ミシュランタイヤ株式会社

第一副会頭



ミッシェル・テオヴァル
GHT-GROUP HI TECH

第二副会頭



信元久隆
曙ブレーキ工業株式会社

第三副会頭



フィリップ・ダルベラ
フィリップ・ダルベラ外国法事務
弁護士事務所

第四副会頭



クリスチャン・ボラック
株式会社セリク

第五副会頭



ルイジ・コラントゥオーニ
トタル・トレーディング・インターナシヨ
ナルSA東京支社

専務理事



フランソワ・ザビエリエナル
サンゴバン

会計



エティエンヌ・ルプートル
日本エア・リキード株式会社

理事



フィリップ・アヴリル
BNPパリバ証券株式会社



リュック・ドゥラブラス
エールフランス航空



エリック・テュシュマン
アシェット・コレクションズ・ジャパン
株式会社



義和 ヤン・ガイエ
エス・テー・デュボン ジャパン株式会社



ジャン=エチエンヌ・グルグ
ベルノー・リカール・ジャパン株式会社
(2014年6月30日迄)



クリスチャン・ジェルサレ
ヴェオリア・ウォーター・ジャパン
株式会社



アーノー・ラストール
株式会社エスティヴィー・ジャパン



ロイック・レトレ
ネスレ ネスプレッツ株式会社
(2014年9月15日迄)



ニコラ・シトボン
ロンシャン・ジャパン株式会社



ドゥニ・ヴェルニョ
ヴァローナ ジャパン株式会社



シリル・ヴィニユロン
LVMH モエ ヘネシー・レイ ヴィトン・
ジャパン株式会社



リヨネル・ヴァンサン
セーヴェー・エムエル外国法事務
弁護士事務所

監事



エマニュエル・アンギス
KPMG



ピエール=イヴ・カエ
イーワイ



ティエリー・ドゥジェヌ
テロイト・トウシュ・トーマツ

(Le 31 décembre 2014)

1.2. 委員会

2014年、在日フランス商工会議所は11の委員会を組織した。各委員会は、在日フランス商工会議所の活動内容を分野別に検討し、定期的にネットワーキングやセミナーを開催した。

機能委員会

メンバーシップ委員会

委員長：信元久隆(曙ブレーキ工業株式会社)

委員：ベルナール・デルマス(日本ミシュランタイヤ株式会社)

メンバーシップ委員会は、日本国内の日本企業、フランス企業を対象にした在日フランス商工会議所の入会プロモーション活動を企画する。2014年は、1度開催された。

出版委員会

委員長：ベルナール・デルマス(日本ミシュランタイヤ株式会社)

委員：エマニュエル・プラット(LVMH モエ ヘネシー・ルイ ヴィトン・ジャパン 株式会社), クリスチャン・ポラック(株式会社 セリック), ランドリ・グドン(岩田合同法律事務所), アルメル・カイエール(メディアキーズジャパン株式会社)

出版委員会は、雑誌「フランス・ジャポン・エコー」で毎号取りあげる特集のテーマや内容を検討・決定し、CCIFJウェブサイトやニュースレター、会員名簿やその他の情報ツールに関する企画、運営方針について協議する。2014年は7回開催され、特に雑誌「フランス・ジャポン・エコー」の読者増に向けマーケティング、流通拡大について議論が交わされた。

ガラ・パーティー運営委員会

委員長：ドゥニ・ヴェルニョ(ヴァローナ ジャパン 株式会社)

ガラ・パーティー運営委員会は、ガラ・パーティーの運営方針を決定するための委員会で、2014年は1月27日に開催された。ジャン＝エチエンヌ・グルグ氏の後任として、ドゥニ・ヴェルニョ氏が委員長に就任した。

イベント委員会

委員長：ドゥニ・ヴェルニョ(ヴァローナ ジャパン 株式会社)

委員：全てのオペレーション委員会の委員長

イベント委員会は、2014年に新設された委員会で、10月10日に第一回会合が開催された。目的は、四半期のペースで7つのオペレーション委員会の委員長が集まり、ノウハウを共有し、それぞれのイベントの日程の調整などを行う。

オペレーション委員会

起業家委員会 (P.26)

委員長：ファブリス・シンドラー(バツ)

税制・規制委員会 (P.25)

委員長：フィリップ・ダルベラ(フィリップ・ダルベラ外国法事務弁護士事務所)

ビジネス デベロップメント委員会 (P.24)

委員長：エリック・デュシュマン(アシェット・コレクションズ・ジャパン株式会社)

革新技術・情報委員会 (P.25)

委員長：ピエール・ムスティエール(ブイグテレコム)

ヤングプロフェッショナル委員会 (P.24)

委員長：セバスチャン・パエス(ダッソー・システムズ株式会社)

マーケティング・流通委員会 (P.26)

委員長：フィリップ・ジャルダン(フォション株式会社)

人材開発委員会 (P.41)

委員長：中山多美恵(ヴェオリア・ウォーター・ジャパン株式会社)

イザベル・コント＝リエナール(アクサ生命保険株式会社)の後任

オペレーション委員会の詳細は、記載されたページをご参照ください。

1.3. 在日フランス商工会議所スタッフ

東京オフィスには21人が勤務し、関西デスクに1人が常駐している。(2014年12月31日時点)

事務・管理

事務局長
ニコラ・ボナルデル

経理
田代 裕子

事務局長秘書
塚田 恵美子

経理アシスタント
松井 美里

メンバーシップ・国内イベント部

部長
吉田 暢子

イベント企画部

部長
アリス・カルヴェ

広報・事業推進部

部長
森山 徹

ミッション担当
寺嶋 美穂

情報技術
ジュリアン・リシャール

関西デスク
マチュー・ジュトー

ミッション担当
ボリン・グラセ

雑誌「フランス・ジャポン・エコー」編集長
レジス・アルノー

人材開発部

部長
ナタリー・ボティネリ

商務部

部長
石川 浩子

「ボンジュール フランス」プロジェクトチーム

プロジェクト・リーダー
ダフネ・ドゥヴィトン

ミッション担当
ニコラ・モルメネオ

プロジェクト・リーダー
高橋 恵津子

ミッション担当
直江 佐穂里

ミッション担当
横山 泰子

ミッション担当
ブノワ・ローロ

ミッション担当
レイラ・セディック

ミッション担当
高原 あゆ美

エミリー・スリオが関西デスクを退職後、10月に後任としてマチュー・ジュトーが着任。
モード・バステが企画広報部 部長を退職後、10月に後任としてアリス・カルヴェがイベント企画部長に着任。
エリック・オリヴィエが企画広報部のミッション担当を退職後、10月に後任としてボリン・グラセが広報・事業推進部のミッション担当に着任。
ステファニー・ヴォテヌが人材開発部 部長を退職後、5月に後任としてナタリー・ボティネリが着任。
寺嶋美穂が人材開発部のミッション担当を退職後、10月に後任として横山泰子が着任。
二宮紀子が商務部 部長を退職後、10月に後任として石川浩子が着任。

1.4. 名誉委員会

当委員会は日本ビジネス界トップレベルの指導者をメンバーとし、日仏関係発展に関しての提言および方向付けを行う事を目的としている。

在日フランス商工会議所は、日仏間の経済および貿易関係強化を図るために、日本のビジネス界と共同で実行される両国間緊密化の枠組みに従って、2001年1月、「日仏推進委員会」を発足した。日本経済会との関係をさらに深めるため、2007年に名前を「名誉委員会」へ変更した。2013年、信本久隆副会頭の尽力により、新たなメンバーを迎えた。

6月2日に、フランス大使公邸でクリスチャン・マセ駐日フランス大使のイニシアティブの元、会合が行われた。

2014年度、在日フランス商工会議所 名誉委員会の構成は次の通り

名誉委員長：

ティエリー・ダナ 駐日フランス大使(2014年6月11日より)

メンバー：

福原 義春	株式会社資生堂 名誉会長
日枝 久	フジテレビジョン 代表取締役会長
堀場 厚	株式会社堀場製作所 代表取締役会長兼社長
稲畑 勝雄	稲畑産業株式会社 取締役相談役
小林 栄三	伊藤忠商事株式会社 取締役会長
小平 信因	トヨタ自動車株式会社 取締役副社長
小枝 至	日産自動車株式会社 相談役 名誉会長
小柴 満信	JSR株式会社 代表取締役社長
御立 尚資	株式会社ボストンコンサルティンググループ 日本代表
信元 久隆	曙ブレーキ工業株式会社 代表取締役会長兼社長
大江 匡	株式会社プランテックアソシエイツ 代表取締役会長兼社長
大西 洋	株式会社三越伊勢丹ホールディングス 代表取締役社長 執行役員
奥谷 禮子	株式会社ザ・アール 会長
杉田 亮毅	日本経済研究センター 会長
鈴木 泰信	NTN株式会社 代表取締役会長
滝 久雄	株式会社ぐるなび 代表取締役会長・創業者
辻 慎吾	森ビル株式会社 代表取締役社長
内海 孚	東海東京フィナンシャル・ホールディングス株式会社 グローバル・アドバイザー・ボード議長

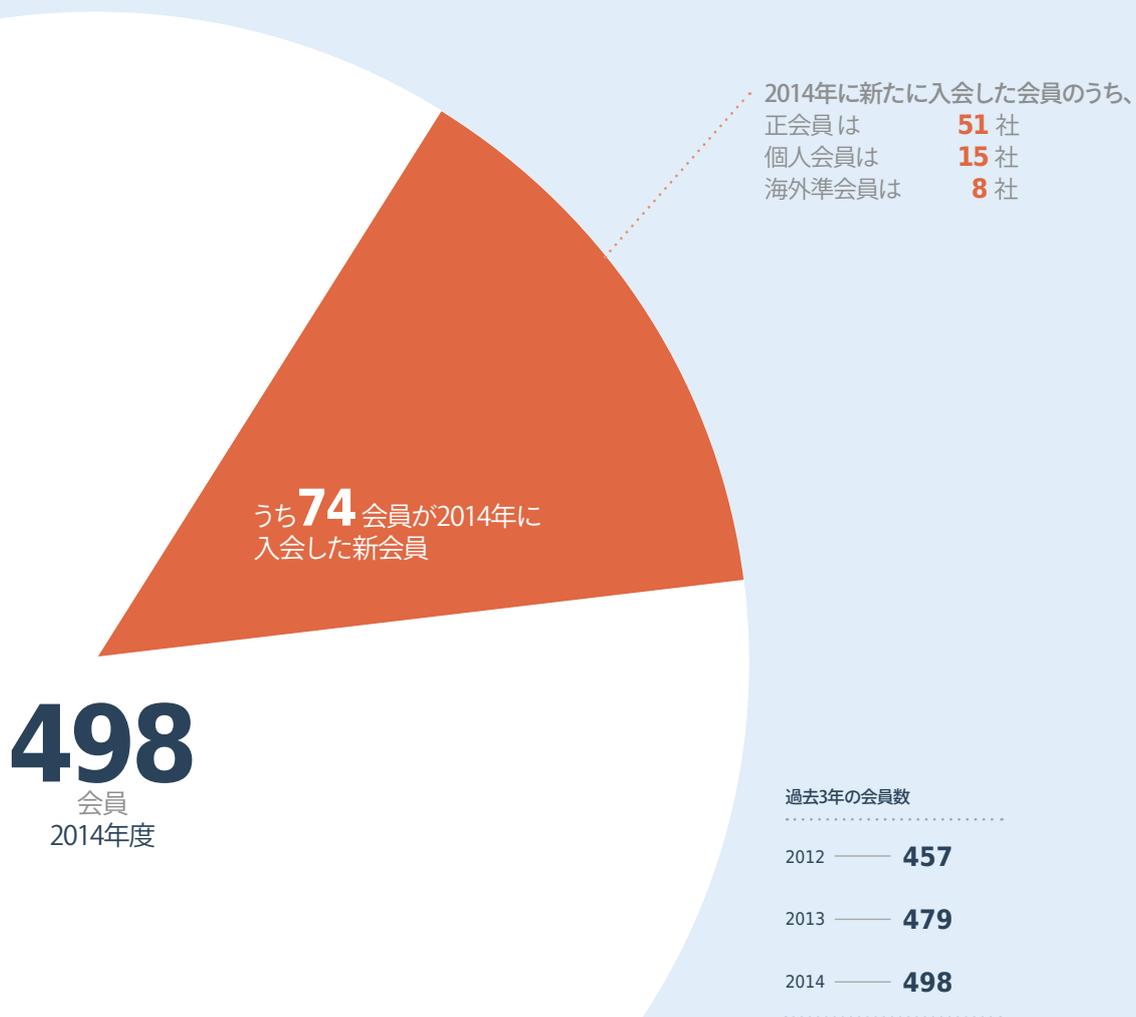
2. メンバーシップ

2.1. 総括

会員、ネットワークそしてビジネスコミュニティ

2014年12月31日現在、会員数は498社。315の在日正会員のうち85社が賛助会員である。在日フランス商工会議所は依然、在日の欧州商工会議所として日本最大の組織である。2014年度は地方における入会プロモーションに注力するとともに、既存メンバー向けのサービス向上に努めた。2014年度及び2015年度入会キャンペーン促進のため、2人のミッション担当を採用（2013年12月～2014年6月と2014年11月～2015年6月）。更には在日フランス大使館、領事館との連携を深め、在日フランス商工会議所の認知度の拡大を図った。

賛助会員、在日正会員、在日準会員、海外会員の年会費は変わらず、スタートアップ会員年会費及び地方会員の年会費も変更はなかった。



2.2. 2014年の活動内容

会員フォローアップ事業

2014年に2つの活動を実施した。

1. 新会員向けのオリエンテーションイベントの開催

- ✓ 2014年10月21日に新会員向けオリエンテーションイベントを開催し、在日フランス商工会議所の活動を詳しく説明し、続くネットワーキングのカクテル・パーティーでは会員相互の親交を深めた。📷1,2
- ✓ 新会員の個別対応として、各会員のニーズを把握するため、企業訪問やメール、電話を通じてフォローアップを実施した。

2. 既存会員のフォローアップ

- ✓ 在日会員の企業訪問2カ年計画(年間200社を訪問予定)
- ✓ 退会希望企業への働きかけ:2013年には12社の企業が再考の結果、退会をとりやめた。
- ✓ 会員企業同士の交流を促す

2015年の入会プロモーション計画

1. 新会員紹介キャンペーンを開始(2015年1月中旬に会員企業にメールで案内を配信)
2. 地域「アンバサダー」の任命を行なう。第一号関西圏「アンバサダー」を2014年12月に任命した。



2.3. 賛助会員の推移



2014年の賛助会員: 85社

- | | | |
|-------------------------------------|---------------------------------------------|---------------------------------|
| 1. レイモンジャパン 株式会社 | 30. 株式会社 グラムスリー | 59. ブジョー・シトロエン・ジャポン 株式会社 |
| 2. エイジーエス フォーウインズ ジャパン 株式会社 | 31. グランドハイアット 東京 | 60. 株式会社 ビエールファーブルジャポン |
| 3. エールフランス航空 | 32. 株式会社 グループセブ ジャパン | 61. ピュラトスジャパン株式会社 |
| 4. 日本エア・リキード 株式会社 | 33. ゲルベ・ジャパン 株式会社 | 62. プライスウォーターハウスクーパース ジャパン |
| 5. 曙ブレーキ工業 株式会社 | 34. 株式会社 ぐるなび | 63. リシュモン ジャパン 株式会社 |
| 6. 日本アルカテル・ルーセント 株式会社 | 35. アシェット・コレクションズ・ジャパン 株式会社 | 64. ロケットジャパン 株式会社 |
| 7. アンダーズ東京 | 36. エルメスジャポン 株式会社 | 65. ロイヤル カナン ジャポン 合同会社 |
| 8. アクサ生命保険株式会社 | 37. ハイアットリージェンシー 東京 | 66. エス・テー・デュボン ジャポン株式会社 |
| 9. バカラパンフィック 株式会社 | 38. 株式会社 ジョリ・フルール | 67. サンゴバン |
| 10. ブルーベル・ジャパン 株式会社 | 39. 株式会社 エスディーヴィー ジャパン | 68. サノフィ株式会社 |
| 11. B N Pパリバ証券株式会社 | 40. KPMGジャパングループ | 69. 学校法人江副学園 新宿日本語学校 |
| 12. ブルガリ ジャパン株式会社 | 41. 株式会社 LAGARDERE ACTIVE ENTERPRISES JAPAN | 70. 株式会社SMBC信託銀行 |
| 13. キャップジェミニ株式会社 | 42. ロンシャン・ジャパン株式会社 | 71. ソシエテ ジェネラル |
| 14. シャネル 株式会社 | 43. マルヤス工業株式会社 | 72. ソルベイ ジャパン 株式会社 |
| 15. セーヴェーエムエル外国法共同事業 法律事務所 | 44. マザージャパン 株式会社 | 73. エスエスケイサブライ株式会社 |
| 16. クレディアグリコル コーポレート インベストメントバンク | 45. マッキンゼー・アンド・カンパニー・インコーポレイテッド・ジャパン | 74. スワロフスキー・ジャパン株式会社 |
| 17. 株式会社 大丸松坂屋百貨店 | 46. メリアル・ジャパン 株式会社 | 75. シスメックス・ビオメリュー 株式会社 |
| 18. ダノンジャパン 株式会社 | 47. みかど協和株式会社 | 76. 株式会社 TASAKI |
| 19. ダータワーズジャパン株式会社 | 48. 三井不動産 株式会社 | 77. タレス ジャパン 株式会社 |
| 20. 有限責任監査法人トーマツ | 49. ナティクス日本証券株式会社 | 78. TMI総合法律事務所 |
| 21. エーデンレッド ジャパン (株式会社バークレーヴァウチャーズ) | 50. ネスレ ネスプレッソ 株式会社 | 79. トタル・トレーディング・インターナショナルSA東京支社 |
| 22. イーワイ | 51. 日本ミシュランタイヤ株式会社 | 80. トヨタ紡織株式会社 |
| 23. 株式会社ファーストリテイリング | 52. 株式会社 ニコン・エシロール | 81. 豊田通商株式会社 |
| 24. フィブ ジャパン | 53. 日産自動車株式会社 | 82. 株式会社ヴァレオジャパン |
| 25. フレンチF&Bジャパン 株式会社 | 54. NTN 株式会社 | 83. ヴァローナ ジャポン 株式会社 |
| 26. ガルテルマ 株式会社 | 55. オレンジ・ジャパン株式会社 Orange Labs | 84. ヴェオリア・ウォーター・ジャパン 株式会社 |
| 27. 株式会社ギャルド ユウ・エス・ピー | 56. 大塚化学株式会社 | 85. ウェンデル・ジャパン株式会社 |
| 28. GHT-GROUP HI TECH | 57. パルファン・クリスチャン・ディオール・ジャポン 株式会社 | |
| 29. ゴディバジャパン株式会社 | 58. ペルノ・リカール・ジャパン 株式会社 | |

2.4. 2014年度の新入会員

正会員

2014年に入会した正会員: 51社

1. カモプラストソリディール
2. エスエスケイサプライ株式会社
(賛助会員)
3. アルバトロス・グローバル
ソリューションズ
4. 北浜法律事務所
5. エス・ビー・エイ 株式会社
6. ジャスフオーディングジャパン
株式会社
7. マッキンゼー・アンド・カンパニー
インコーポレイテッド・ジャパン
(賛助会員)
8. セールスインスティテュート ジャパン
株式会社
9. 株式会社ウェバートン
10. キャップジェミニ株式会社
(賛助会員)
11. グループ・ロシニョール株式会社
12. エナンジュジャパン株式会社
13. 株式会社日仏経済戦略研究所
14. 株式会社ファブリカ
15. クレダジ ジャパン株式会社
16. フロミ
17. ルミスカフ株式会社
18. 株式会社 堀場製作所
19. エス・エフ・エー ジャパン 株式会社
20. アルタヴィア・ジャパン株式会社
21. ジャパン・コスメティックセンター
22. 株式会社アンシャントマン
23. CRITEO株式会社
24. シャンパーニュ ビーカーール サルモン
25. ティオニー株式会社
26. パートナーズ会計事務所
27. レグラン シェド フランス
28. エトラー株式会社
29. ヴェルカン サービス
30. イプセンファルマ
31. 株式会社 大丸松坂屋百貨店
(賛助会員)
32. 株式会社ラクサントール ジャパン
33. グローバル・アドバイザー ジャパン
株式会社(在日準会員から登録変更)
34. ダータワーズジャパン株式会社
(賛助会員)
35. CMA CGM ジャパン株式会社
36. ソルビング エフェソ
37. ラフマ・モビリエ
38. オールビック株式会社
39. 株式会社 キロロアソシエイツ
40. BMEDIA 株式会社
41. レトリH.トリバラ
42. マウナケアテクノロジーズ
43. テリフランスジャパンホールセール
(海外会員から登録変更)
44. 株式会社 WEDOVIDEO
(在日準会員から登録変更)
45. サイフォーマ株式会社
46. コンソリス・レール・インターナショナル
エス・アー・エス、日本支店
47. ソムフィ株式会社
48. 三菱重工業株式会社
49. 株式会社フランシール
50. レクトラ・ジャパン株式会社
51. 学校法人江副学園 新宿日本語学校
(賛助会員)

個人会員

2014年に入会した個人会員: 15人

1. 野口桂子様
2. M. OLIVIER LEROY
3. M. JEAN-NOEL COSTER
4. M. CHRISTOPHE TOURIAN
5. MME CAROLINE TRAUSSCH
6. M. JEAN-NOEL LECOMTE
7. 奥谷禮子様
8. 内堀眞史様
9. M. JEAN-LOUIS SPOTTI
10. 八木岡しおり様
11. MME ADRIANA ARCHAMBAULT
12. MME HELENE JACQUET-AKAGAWA
13. M. JEAN-CHARLES TOUQUET
14. M. FABIEN GREGOIRE
15. 尾崎直子様

海外準会員

2014年に入会した海外準会員: 8社

1. CALIXAR SAS
2. 大槻健様

2.5. 東京以外の活動(地方における活動)

関西地方における在日フランス商工会議所の存在を強化するため、引き続き西日本での活動が大阪を拠点として行なわれた。マチュー・ジューターが在日フランス商工会議所の賛助会員である株式会社エスティーヴィージャパン大阪支店内に設置する関西デスクに駐在員として着任した。

関西デスクの主な目的は、関西周辺での新規会員の勧誘や、現地産業に対する認知度の向上、自治体や機関との関係の強化、さらには会員・非会員向けのイベントを開催することである。

入会

2013年9月にメンバーシップ委員会は、関東地方以外の企業向けの入会キャンペーンの実施を採択した。2014年には多くの企業にアプローチし、会員が新しく8社入会した。

2014年度の新入会員は以下の通りである。

株式会社ウェバートン(大阪)、株式会社 堀場製作所(京都)、ジャパン・コスメティックセンター(佐賀)、株式会社アンシャントマン(大阪)、ディオニー株式会社(京都)、株式会社ラクサントゥール ジャポン(兵庫)、株式会社 キロロアソシエイツ(北海道)、レクタラ・ジャパン株式会社(大阪)

関西地方における取り組みの継続を図り、大阪の関西デスクを中心に活動を拡大する予定である。

在日フランス商工会議所の地域「アンバサダー」

2014年12月の理事会で地域「アンバサダー」システムの導入が可決された。

任務：在日フランス商工会議所の地域「アンバサダー」は、日本とフランスとの経済・産業・商業関係の更なる発展に向けた活動を可能な範囲で、無償で行う。在日フランス商工会議所の「アンバサダー」は主に居住する地域においてフランスの魅力を紹介するとともに、当該地区に在住するフランス人に日本の魅力を伝えることが使命である。

関西圏における第一号の地域「アンバサダー」に、川崎機械工業株式会社の林誠一郎代表取締役社長が任命された。

東京以外のイベント

2014年に数多くのイベントが地方で開催された。(29ページ)



2015年、在日フランス商工会議所のロゴが新しくなりました。

在日フランス商工会議所は2015年1月、ロゴを刷新致しました。またフランス語の正式名称は、これまで通りLa Chambre de Commerce et d'Industrie Française du Japonですが、新たに省略名称のCCI France Japonを併用致します。今回、同ネットワークの一体感を一層高めることを目指し、フランス国内外のフランス商工会議所のロゴ、表記方法を統一することになりました。在外フランス商工会議所連合会 (La CCI France International)のネットワークは現在、世界82カ国、112のフランス商工会議所の拠点を有し、30,000社以上の企業が在籍しビジネスを展開しています。これからも会員企業に様々なサービスを提供し、フランスとのビジネス関係及び交流を促進していきます。

3. イベント

3.1. 総括

2014年、100を超えるイベントを開催

2014年は、106の主催・共催イベントが企画・実施された。ネットワーキング・イベントから経済界の最新テーマに関する講演会まで、イベント企画部は常に会員の要求にこたえるべく、情報提供やネットワークの場を生み出していく。

106

の主催・共催イベントが
開催された。

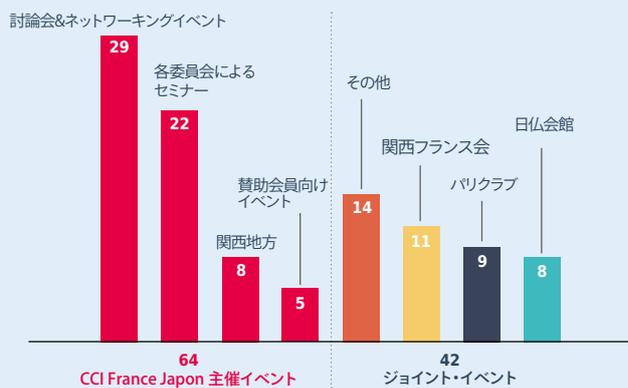
4200

人の出席者があり、そのうち1210人は
2014年に開催された3回の
ガラ・パーティーの出席者

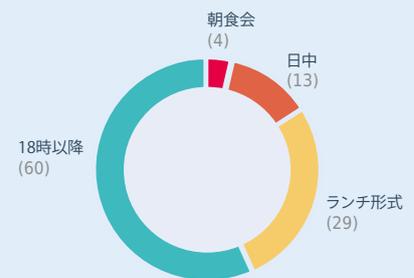
3

1週間に平均で開催される
イベントの数
(バカンスシーズンは除く)

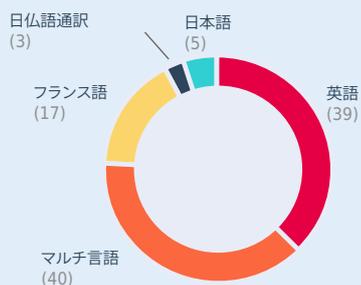
イベントの種類



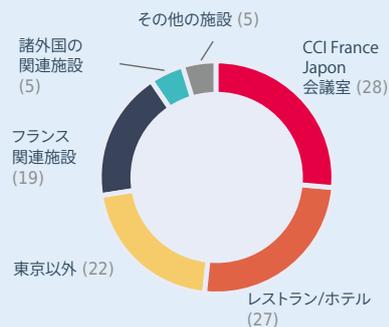
時間帯



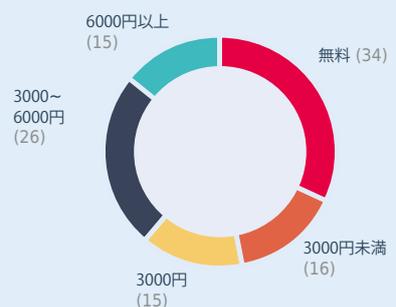
使用言語



場所



会費



(イベント数)

3.2. イベントの種類

- ✓ 在日フランス商工会議所例会（エコノミスト、企業代表、政治家等のスピーカーを迎えての朝食会、昼食会、講演会等）
- ✓ アフターサマーパーティーや新会員オリエンテーションを含むネットワーキングイベントおよび、在日フランス商工会議所会員に有益な情報交換会やその他会合
- ✓ 企業見学
- ✓ 恒例年次行事：ガラ・パーティーおよびゴルフトーナメントは、日本の顧客およびパートナーに対する自らの企業の広報手段として会員に利用されている。
- ✓ 税制・規制委員会、ビジネス テベロップメント委員会、革新技術・情報委員会、ヤングプロフェッショナル委員会、マーケティング・流通委員会、人材開発委員会、メンバーシップ委員会等、テーマ別会合
- ✓ 日仏経済交流会（ノバクラブ）、公益財団法人日仏会館、関西フランス会、各地の商工会議所、日仏工業技術会、及び在日の外国商工会議所ら関係団体との共催イベント

3.3. 2014年のVIPスピーカー



在外フランス人議会選挙11区
ティエリー・マリアニ議員（1月14日）



ピエール・モスコビシ仏財務相
（2月24日）



ナティクス銀行研究調査部長
パトリック・アルテュス氏（6月25日）



2015年国連気候変動パリ会議特別代表
ローランス・トゥピアナ氏（10月7日）



ティエリー・ダナ駐日フランス大使
（10月30日）

3.4. ネットワーキングイベント

ネットワーキングイベントに、延べ600名以上が参加者した。

- ▶ 1月30日 新年会・フレンチ ビジネス大賞受賞式 (参加者200名) 📷1
- ▶ 9月4日 懇親会 アフターサマーパーティー (参加者200名) 📷2,3
- ▶ 11月26日 懇親会 欧州商工会議所カクテル・パーティー (参加者220名) 📷4



3.5. フレンチ ビジネス大賞

フレンチビジネス大賞は、幅広い分野で活躍する在日フランス商工会議所の会員企業の優れた活動を称え、企業活動で顕著な業績があった、もしくは社会貢献をおこなったものに与えられる。エントリー資格は、国籍は問わず、在日フランス商工会議所の会員企業であること。

カンパニー・オブ・ザ・イヤー、ベスト中小企業(SME)賞、イノベーション賞、環境貢献賞、審査員特別賞の5つの賞を選んだ。

2014年受賞企業

カンパニー・オブ・ザ・イヤー	日本アルカテル・ルーセント株式会社
審査員特別賞	エス・テー・デュボン ジャパン株式会社
ベスト中小企業(SME)賞	グラボテック株式会社
イノベーション賞	ダノンジャパン 株式会社
環境貢献賞	アルケマ株式会社



3.6. ガラ・パーティー

在日フランス商工会議所は、ガストロノミーやスペクタクルを通じフランスの文化を伝えるイベント、ガラ・パーティーを3回開催した。ガラ・パーティー東京は36回目を数え、東京以外の開催は、2013年に神戸開催に続き、関西は大阪で2回目となる。加えて福岡で初めて開催した。ガラ・パーティーは、会員企業がビジネスパートナーにフランスの文化を紹介するイベントとして開催している。

2014年、大阪(5月14日)、福岡(6月9日)、東京(11月4日)の3都市で開催したガラ・パーティーに、延べ1200名以上が参加した。

ガラ・パーティー関西

2014年5月14日、ホテルニューオータニ大阪を会場に、在日フランス商工会議所2014年ガラ・パーティー関西を開催した。このパーティーには、関西及び首都圏の日仏ビジネスコミュニティから、更にクリスチャン・マセ駐日フランス大使閣下、北川知克環境副大臣、荒井正吾奈良県知事、小西禎一大阪副知事、金澤和夫兵庫県副知事、門川大作京都市長らご来賓を含む230名が参加した。ガラ・パーティー関西では、フランスの美食文化と生活芸術の大使であり、フランス料理、菓子、パンの技術を教える世界的な教育機関のル・コルドン・ブルー日本校のご協力の元、マスターシェフ、ドミニク・コルビ氏によるフランス料理のガラ・パーティー特別メニューをご堪能いただいた。また、ヤニック・パジェ氏が指揮する大阪教育大学オーケストラの演奏と、豪華賞品が盛り沢山の抽選会を開催した。



ガラ・パーティー福岡

2014年6月9日、アゴーラ福岡山の上ホテル&スパを会場に、九州で初開催となる在日フランス商工会議所2014年ガラ・パーティー福岡を開催した。このパーティーには、九州及び首都圏の日仏ビジネスコミュニティから、更にクリスチャン・マセ駐日フランス大使閣下、高島宗一郎福岡市長、古川康県知事らご来賓を含む170名が参加した。ガラ・パーティー福岡では、フランスの美食文化と生活芸術の大使であり、フランス料理、菓子、パンの技術を教える世界的な教育機関のル・コルドン・ブルー日本校のご協力の元、マスターシェフ、ドミニク・コルビ氏がフランス料理の特別メニューで腕をふるった。シャンソン歌手貝山幸子氏のスペシャルコンサートに続き、52賞の抽選会を行なった。

同日午後、共創館カンファレンスルームにて、フランス・九州(福岡)経済投資セミナー「日本における持続的成長の中心地としてのFUKUOKA」を開催した。



ガラ・パーティー東京

2014年11月4日、ANAインターコンチネンタルホテル東京を会場に開催した在日フランス商工会議所2014年ガラ・パーティー東京に800名が参加した。

「厨房のピカソ」の異名をとり合計13の星を獲得しているピエール・ガニエールシェフのスペシャルメニューをお楽しみいただくと共に、指揮者ヤニック・パジェ氏とソプラノ歌手アンヌ・ロティエ氏と20名の交響楽団によるスペシャルクラシックコンサートを開催した。パーティーの最後には、フランス旅行など豪華賞品400賞以上の抽選会を開催した。



▶ コメント

「在日フランス商工会議所のガラ・パーティーは東京で開催されるイベントの中でも素晴らしいもののひとつです。毎年内容がバージョンアップされ、参加するのがとても楽しみです。」

ロンシャン・ジャパン株式会社 CEO ニコラ・シトボン氏



3.7. 各委員会の活動

3.7.1 ビジネス・デベロップメント委員会

日本市場への進出・拡大を目指す中小企業へのアドバイスや情報提供を行う。



委員長: エリック・デュシュマン氏
(アシェット・コレクションズ・ジャパン株式会社)

2014年にはイベントを3回開催した。

- ▶▶ 5月28日 *Globalizing Japan-based organizations: the change management challenge*
Mr. Georges Desvaux, McKinsey & Company 
- ▶▶ 10月20日 *How to negotiate and win a Public Contract in Japan*, Mr. Jean-Louis Moraud, President, Thales Japan 
- ▶▶ 11月21日 *30 years of Porsche history in a nutshell*, Mr. Toshiaki Kurosaka, Chairman, Porsche Japan



3.7.2 ヤングプロフェッショナル委員会

日本で働く若手フランス人ビジネスマンと、日本人・その他の外国籍の若手ビジネスマンとの交流イベント等の企画を行う。



委員長: セバスチャン・パエス氏
(ダッソー・システムズ株式会社)

2014年にはイベントを4回開催した。

- ▶▶ 2月5日 ネットワーキングイベント、会場: レガート
- ▶▶ 4月30日 ネットワーキングイベント
会場: ラスチカス
- ▶▶ 6月18日 ネットワーキングイベント
会場: アンプラント 
- ▶▶ 12月10日 ネットワーキングイベント
会場: ラスチカス 



3.7.3 税制・規制委員会

日本における起業・事業活動に対する税制面・法規制に関するあらゆる情報を提供する。



委員長：フィリップ・ダルペラ氏
(フィリップ・ダルペラ外国法事務弁護士事務所)

2014年にはイベントを3回開催した。

- ▶▶ 10月23日 「経済見通し」
司会：ティエリー・ドゥジェヌヌ氏 (テロイトトウシュトーマツ)、フィリップ・ダルペラ氏 税制・規制委員会委員長
ゲストスピーカー：
ステファン・シネウスキ氏、フロランス・ジャンブラン＝リスレー氏 (在日フランス大使館)、
エティエンヌ・ルプートル氏 (日本エア・リキード株式会社)、
マーク・ブランドン氏、フランス・ソマーヴィル氏、ローラン・フジェロル氏 (テロイトトウシュトーマツ)
- ▶▶ 11月26日 「新しい税制措置が在日のフランス企業に与える影響」
Mr. Stéphane Austry, CMS Bureau Francis Lefebvre
- ▶▶ 12月10日 *Selling on the internet*, Mr. Jean-Denis Marx, Baker & McKenzie 📷1



3.7.4 革新技術・情報委員会

在日フランス商工会議所の会員に対し、最新の革新技術動向を紹介する。



委員長：ピエール・ムスティエール氏
(ブイグテレコム)

2014年にはイベントを4回開催した。(見学会2、講演会2)

- ▶▶ 4月17日 パナソニックセンターショールーム見学会
- ▶▶ 6月5日 NECショールーム見学会
- ▶▶ 9月24日 *Understanding the customers buying process in the shops thanks to their Smartphone*,
Mr. Sébastien Béal, CEO, Localise 📷1
- ▶▶ 10月9日 アルデバランとソフトバンク: ロボット
「ペッパー」開発プロジェクト,
Mr. Sébastien Cagnon, Aldebaran 📷2



3.7.5 マーケティング委員会

パネルディスカッションを開催し、日本の流通やマーケティングの実情に関する問題を討議する。



委員長：フィリップ・ジャルダン氏
(ファッション株式会社)

2014年にはイベントを3回開催した。

- ▶▶ 1月14日 *Wine and Spirits market in Japan, 20 years of development for Pernod Ricard in Japan balancing local roots and global reach,*
Mr. Jean-Etienne Gourgues, Pernod Ricard Japan 
- ▶▶ 3月26日 *Developing Toyota's unique way in global marketing,*
Mr. Guillaume Gerondeau, Toyota Motor Sales & Marketing Corporation 
- ▶▶ 10月15日 *Coach, evolving towards a modern luxury lifestyle brand,*
Mr. Nicolas Villegier, president, Coach Asia



3.7.6 起業家委員会

日本で起業を希望するフランス人の支援を行う。専門家によるアドバイスをを行い、具体的に企業の活動を後押しした。



委員長：ファブリス・シンドラー氏
(パッソ)自身も起業家

2014年に、3月7日と7月4日、起業家のプロジェクト発表会を2回開催し、7プロジェクトが専門家のアドバイスを得た。



3.7.7 人材開発委員会



委員長：中山 多美恵氏
(ヴェオリア・ウォーター・ジャパン株式会社)
(2014年9月より)

(活動内容については41ページ参照)

3.8. 賛助会員向けイベントの開催

在日フランス商工会議所は企業のリーダー、著名人、オピニオンリーダーをゲストに招き、賛助会員向けの特別イベントを開催した。

2014年には主なイベントを5回開催した。

- ▶▶ 2月13日 昼食会、伊藤忠商事株式会社 取締役会長 小林 栄三氏
- ▶▶ 3月31日 昼食会、ヴァレオ・グループ CEO ジャック・アシェンブロワ 
- ▶▶ 5月15日 昼食会、トヨタ自動車株式会社 代表取締役副社長 小平信因氏
- ▶▶ 11月17日 賛助会員ディナー、レストランパッション
- ▶▶ 12月1日 エスプリディオール展イベント 



3.9. シンポジウム

フランス・九州(福岡) 経済投資セミナー「日本における持続的成長の中心地としてのFUKUOKA」を2014年6月9日、共創館カンファレンスルームにて開催、110名の参加を得た。このセミナーは、九州(福岡)とフランス間の対日・対仏双方のビジネス交流の促進を図るため、地元自治体、経済団体等と共同で開催した。セミナーでは、フランス及び成長を続けるアジアの玄関口である九州(福岡)の投資環境等のプレゼンテーション、企業の進出事例の紹介、ビジネス交流、新分野の動向を取り上げた。



3.10. ジョイントイベント

イベントの約40%は、パートナー団体とのジョイントイベントとして開催した。

- ✓ 在日の欧州商工会議所、在日アメリカ商工会議所
- ✓ 東京商工会議所
- ✓ 日仏経済交流会（パリクラブ）（49ページ参照）
- ✓ 関西フランス会（CFK）（49ページ参照）
- ✓ 日仏会館（50ページ参照）
- ✓ シアンスポー同窓会
- ✓ クラブVIE
- ✓ ファムアクティブジャポン
- ✓ FSC
- ✓ UFE
- ✓ 地方自治体（福岡県、福岡市）、経済団体（九州経済連合会、ジェトロ）、アンスティテュフランセ九州

- ➔ 1. 日仏会館ランチセミナー「移民について」(2月28日)
- 2. アメリカ商工会議所とのジョイントイベント:メルセデス (4月3日)
- 3. カナダ商工会議所とのジョイントイベント:クールジャパン (4月23日)
- 4. ファムアクティブジャポンとのジョイントイベント(4月24日)
- 5. フランス商工会議所・ベルギールクセンブルグ商工会議所ゴルフトーナメント (5月23日)
- 6. 商工会議所合同サマーパーティー (6月19日)
- 7. クラブVIEイベント (11月14日)
- 8. 欧州商工会議所カクテル・パーティー (11月26日)



3.11. 東京以外でのイベント

2014年は、11回のイベントを開催及び参加した。

- ▶▶ 3月10日 兵庫県主催「外資系企業・在日外国会議所
合同サミット」「ひょうご・神戸アラムナイン
ネットワーク交流会」
井戸敏三兵庫県知事参加のサミットに、
在日フランス商工会議所代表として、関東
以外担当理事、アーノー・ラストゥール氏
が参加
- ▶▶ 4月25日 エアバスヘリコプター、神戸ハンガー訪問
見学会
- ▶▶ 5月8日 関西ビジネスランチ
- ▶▶ 5月14日 ガラ・パーティー関西 (P.23参照)
- ▶▶ 6月9日 フランス・九州(福岡)経済投資セミナー「日
本における持続的成長の中心地としての
FUKUOKA」(P.23参照)
- ▶▶ 6月19日 関西ビジネスランチ
- ▶▶ 6月27日 エア・リキード・ジャパン(尼崎工場)
訪問見学会
- ▶▶ 6月30日 DOING BUSINESS WITH FRANCE「関西から
世界へ:ビジネスの国際展開のための実践
的方法と法的観点」
- ▶▶ 7月25日 大阪パナソニックセンター大阪コーポレー
トショールーム訪問見学会
- ▶▶ 11月10日 関西インターナショナル名詞交換会
- ▶▶ 11月28日 関西ビジネスランチ



Léon Roches, deuxième représentant de la France au Japon, à Nagasaki, mai 1867. À sa gauche, Léon Descharmes, membre de la première mission militaire de France au Japon.
 第二代駐日フランス公使
 レオン・ロッシュ(写真左)
 、1867(慶応3)年
 5月長崎にて。向かって右側
 は第一次遣日フランス軍事
 顧問団団員、
 レオン・デシャルム

Paru depuis
 février 2014
 2014年2月
 発刊

LYS & CANON

おおつ
 百合と巨筒

Images et correspondances retrouvées
 見出された画像と書簡集 1860-1900

Troisième étape du voyage dans l'histoire
 des Français au Japon de Christian Polak.

クリスチャン・ポラック氏が綴る、
 日本に足跡を印したフランス人の物語 第三幕

Merci de nous contacter pour vous procurer l'ouvrage.

購入をご希望の方は、在日フランス商工会議所まで
 ご連絡ください。



6480 Yen/円

4. 広報・事業推進部

4.1. 総括

2014年、広報・事業推進部が始動

会員へのコミュニケーション・サービスや在日フランス商工会議所の広報活動をさらに充実させるため、これまでイベント事業と広報・出版事業を担ってきた企画広報部から広報・出版事業を切り離し、2014年新たに「広報・事業推進部」を立ち上げた。今回の新部署設立の目的は、日仏経済界に有益な情報量を常に一定量供給すること、会員へのコミュニケーション・サービスを充実させること、そして在日フランス商工会議所並びに会員企業の最新情報をより多く報道することである。2014年、広報・事業推進部はコミュニケーション・ツールを発展させるため、雑誌「フランス・ジャポン・エコ」の流通拡大など幾つかのプロジェクトに取り組んだ。

+15%

2014年に増えた
雑誌「フランス・ジャポン・エコ」の
配布箇所を増加させた（2013年比）

+25%

2014年にCCIFJウェブサイトの訪問者数
がサイトを閲覧した時間の伸び率
（2013年比）

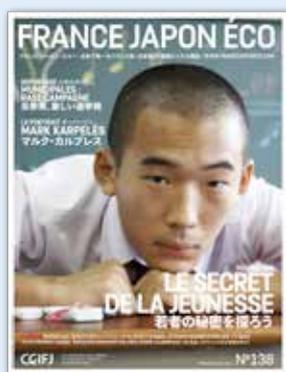
271

Facebook（フランス語版）の
「いいね!」の登録者ユーザー数

↓ 雑誌「フランス・ジャポン・エコ」



No.137
2014 冬号
「日本の食卓を求めて」



No.138
2014 春号
「若者の秘密を探ろう」



No.139
2014 夏号
「自動車部品メーカー」



No.140
2014 秋号
「日本人起業家」

4.2. 雑誌「フランス・ジャポン・エコー」

雑誌「フランス・ジャポン・エコー」は、唯一の日仏2カ国語で書かれたビジネス雑誌である。約80ページからなるこの季刊誌は、日本経済の最新ニュースを取り上げている。

2014年、雑誌「フランス・ジャポン・エコー」は、「農業」「自動車部品業界」という二つの業界と、「若者」「起業家」という経済全体に関連する総合テーマを取り上げた。各号で、多くの会員企業が、それぞれの業界の最新動向や課題について意見を述べた。2014年初めに行われた読者アンケート調査の結果は、読者の「フランス・ジャポン・エコー」への高い評価を示すものであった。同誌は、今後も日仏経済界を代表するビジネス雑誌としてだけでなく、日本経済を総括する主要なビジネス雑誌として成長するよう取り組んでいく。

バイリンガル版の試み

2013年より実施した全ての記事の日仏2カ国語での掲載は、日仏経済界の動きに適合するよい選択だったと言える。在日フランス商工会議所の会員の動きを見ると、企業レベルでも人材レベルでも「日本化」が着実に進んでいる。一方で日本在住の駐在員の数（領事館に登録したフランス人）も、2011年比で27%増えており、日本はフランスで未だ陰ることのない「日本ブーム」の恩恵を受け続けることができるだろう。バイリンガル版への移行で、更に多くの読者にアプローチでき、広告主の興味を更に引くことができるだろう。

デジタル版

2013年以前は、インターネット上で「フランス・ジャポン・エコー」のPDF版のみ閲覧可能であったが、2014年から新たにHTML版もサービスを開始した。インターネットユーザーは、「フランス・ジャポン・エコー」の記事を一般的なニュースサイトと同様に興味ある記事をクリックして閲覧することができる。紙媒体の重要性に加えて、デジタル版を活用することで、

↓「フランス・ジャポン・エコー」デジタル版

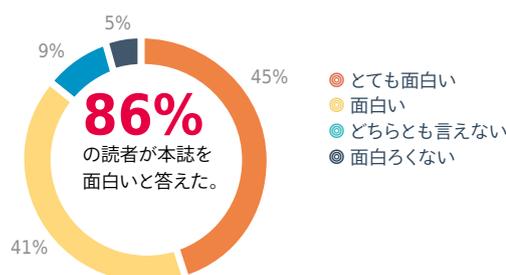


本誌の更なる普及を目指す。実際、フランス国内での「フランス・ジャポン・エコー」の普及は、デジタル版の活用が欠かせない。

流通

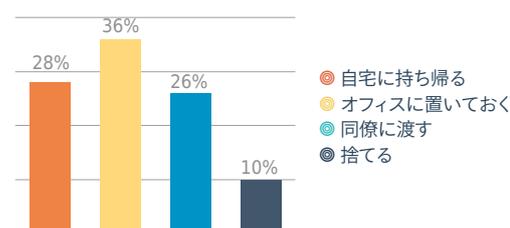
2014年は、本誌の流通の見直し、拡大を行った。出版委員会は、日本国内のラグジュアリーホテルのラウンジやビジネスセンターでの配布拡大を行うことを決定し、結果、都内24、大阪/名古屋13のホテルで本誌が配布されている。フランス国内では、新たに12のフランスのグラン・ゼコールと日本語の選択科目がある51の高校でも、「フランス・ジャポン・エコー」を閲覧することが可能だ。更に、フランス国内の134の日本関連団体にも送付している。2015年は、さらに日本の大学など配布先を増やしていく考えだ。

満足している読者が多い



雑誌の価値も評価されている

読んだ後、雑誌をどうしますか？



(2014年1月、会員企業を対象に雑誌「フランス・ジャポン・エコー」に関して行われたアンケート調査の結果より)

4.3. 会員名簿

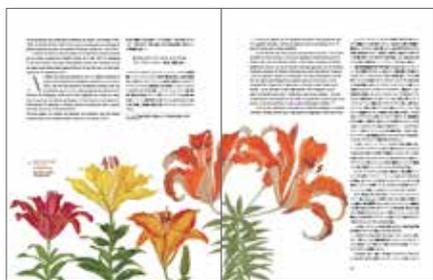
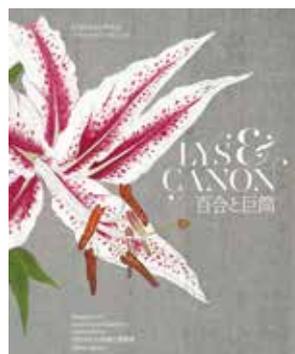
在日フランス商工会議所会員名簿は、国内外の企業会員、個人会員の情報や国内のフランスの政府及び関係機関のリスト、またジャーナリストやフランス関連団体の情報など日仏経済界のあらゆる情報を掲載している。賛助会員と正会員は1ページ、準会員は1/2ページの会員情報ページには、各会員企業の住所や連絡先、事業内容が掲載されている。発行部数は1700部で、会員をはじめ日仏経済界で幅広く配布されている。毎年5月発行。



4.4. 百合と巨筒(おおづつ)

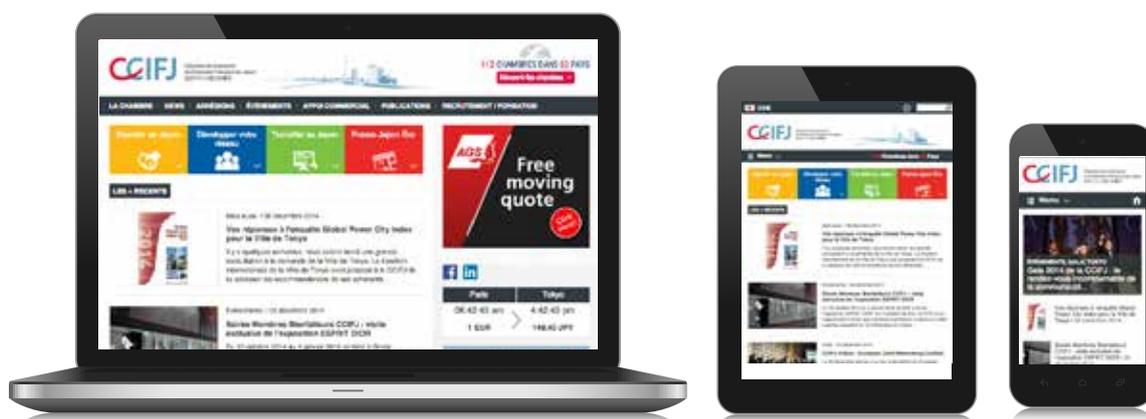
2014年2月、クリスチャン・ポラック著書の豪華装丁本「日仏交流史シリーズ」の第3弾「百合と巨筒～見出された図像と書簡集1860-1900」を発行した。2001年発行の「絹と光～日仏交流の黄金期(江戸時代-1950年代)」、2005年発行の「筆と刀～日本の中のもうひとつのフランス(1872-1960)」に次ぐクリスチャン・ポラック氏の新作は二カ国語、フルカラーページにイラストを満載し、フランスがいかにして日本の産業、軍事発展に寄与したかを明らかにする。一個人の数奇な生涯(例えば海軍士官シャルル・ラヴィゾン)、企業

の新天地での冒険(シュネテール・エ・クルゾー)、ある時代の人々の心に深く刻まれた悲劇(ニール号の沈没)などにさまざまな角度から迫る。



4.5. CCIFウェブサイト

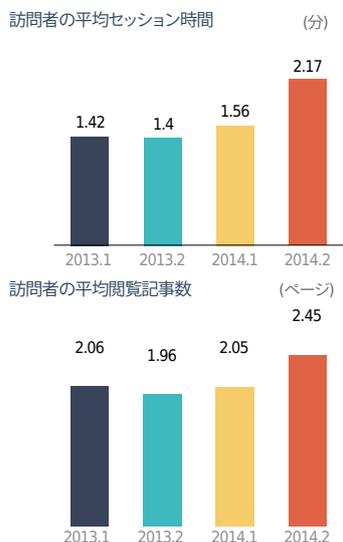
デザイン、レイアウトをリニューアルして2年が経過、CCIFウェブサイトは日仏経済界の情報ポータルサイトとしてさらにその機能を充実させる。



2014年、在日フランス商工会議所は、インターネット上の情報発信ツールの強化に取り組んだ。主に会員企業の動向、最新ニュースを報道する「CCIFウェブサイト」は2014年、1年間で240の記事をオンラインに掲載し（これは平日、一日にはほぼ一件記事を掲載するペース）、2013年の200件を上回った。記事は多くの場合、日本語にも翻訳される。記事は、企業の最新トピックスから、開催されたイベントの報告記事、企業のプレスリリース、テーマを深く掘り下げた分析スタイルの記事まで幾つかのコーナーに分類し、インターネットユーザーが検索しやすく、また読みやすく表示されている。2013年は、6月にフランソワ・オランド フランス大統領が来日した影響で、6,7月でCCIFウェブサイトの訪問者数が大幅に増加した。2014年は、同レベルの訪問者数を維持することに成功した。CCIFウェブサイト上で閲覧できる雑誌「フランス・ジャポン・エコ」デジタル版も新規訪問者の開拓に貢献した。更に2014年後期には、技術面で幾つか改良を加えた結果、パフォーマンスが向上した。数字で見ると、CCIFウェブサイトの訪問者がサイトで記事を開覧する滞在時間が平均で伸び、一人あたり閲覧する記事の平均数も増加した。

ニュースレター

会員企業にメールにて配信される「CCIF ニュースレター」は、CCIFウェブサイトアップされた記事の紹介と、イベント告知を目的としたメールマガジン。フランス語版は月2回、800人の読者に、日本語版は月1回、700人の読者がメールを受け取っている。2014年、「CCIFニュースレター」の配信頻度は常に一定であり、今後も同リズムでの配信を維持する。



↓ ニュースレター



4.6. フェイスブック

在日フランス商工会議所の公式フェイスブック(フランス語)は、2012年にサービスを開始した。ソーシャルネットワークであるフェイスブックは、「CCIFJウェブサイト」に掲載した情報を拡散するためのツールであり、2014年後期、広報・事業推進部の戦略の一環として、コンテンツの充実に取り組んだ。2013年より多くの画像、ビデオ、ニュースがフェイスブックを通して配信された。フェイスブックの特性を活かし、日仏経済界の境界を超え、更に大きなインターネ

ットユーザーにアプローチできる手段として有効である。在日フランス商工会議所の公式ページを「いいね!」に登録しているインターネットユーザーをつけるは、215人から244人へと13%増加した。



4.7. エブド・ドゥ・ジャポン

「エブド・ドゥ・ジャポン (l'Hebdo du Japon)」は、日本のメディアが伝えた最新ニュース、フランス関連のニュースからフランス人駐在員が最も興味を持ちそうなニュースをピックアップしフランス語に翻訳、メールで送信する有料週刊メールマガジン。2014年に14年目を迎えた同サービスは、毎週5~6のフランス語の記事からなり、政治、企業、経済、工業、サービス、社会、文化など様々な分野の記事を提供する。フランス人ジャーナリストと翻訳者が情報を提供している。尚、本サービスは在日フランス大使館経済部・ユビフランスと共同で行って

いる。10月には新規定期購読キャンペーンを実施、読者の要望を把握するため読者アンケートを実施した。



▶▶ 広報・事業推進部のその他の試み



2013-2014年度農林水産省ミッション

2014年2月、日本の農林水産省のプロジェクトの一つである日本食文化普及事業に参加した。博報堂と共同で提出したプロジェクトが一般公募の結果、採用された。博報堂が、消費者向けのイベントとして、フランス国際農業見本市 (SIA) 内に日本食文化をプロモーションする「Japan Eat Good」ブースを設置した。在日フランス商工会議所は、食品加工業の日本企業4社 (アサムラサキ、和田萬、丸山海苔店、室町酒造) のためにフランス現地で商談ミッションを行った。輸入業者、レストランなどフランス企業14社が興味を示し、32件の商談を行った。

4.8. IT関連活動

CCIFJウェブサイトの技術的な改良は、サイトのパフォーマンスを向上させた。会員企業に最良のサービスを提供するため、快適な環境と設備の構築に取り組んでいる。

2014年、在日フランス商工会議所は、IT関連の業務用ツールのアップデートを行った。E-メールの送受信はマイクロソフト社のOffice365を導入し、会議室の予約や、打ち合わせやイベントの日程を複数スタッフで共有できる共通カレンダーのサービスも導入した。ネットワーク環境においては、パフォーマンスがより優れたサーバーに切り替えた。

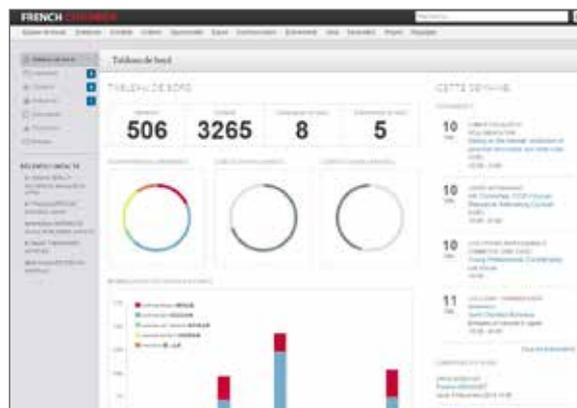
CRM

独自に開発しているCRM(Customer Relationship Management)は2014年、主に商務部が利用する目的でフォローアップ機能を新たに追加した。

一方で、在外フランス商工会議所連合(CCI France International)が全ての商工会議所に共通のCRMプラットフォーム(ソフト)の導入を提案し、在日フランス商工会議所もその可能性を検討している。複数国の商工会議所のITスタッフが集まったアトリエが開催され、在日フランス商工会議所は検討の場を持ち、テクニカルな課題やノウハウ、導入スケジュールなどについて議論を行った。

CCIFJウェブサイトの技術的修正・改良

CCIFJウェブサイトのパフォーマンスを高めるため、幾つかの技術的な改良を行った結果、ページの表示速度が大幅に速まった。バナー用モジュールやページ右側ブロックの簡素化など多くの点を修正し、パフォーマンス向上につながった。



↑ 在日フランス商工会議所CRM

5. 人材開発部

5.1. 総括

会員企業の人事部門へのサービス

人材開発部は、会員企業への人材紹介サービス及び研修プログラムの提供を行った。また、主要な年間イベントであるフレンチビジネスキャンパスや人事開発委員会を、前年に引き続き開催した。

69

人材開発部の
研修セミナー参加者数

+18%

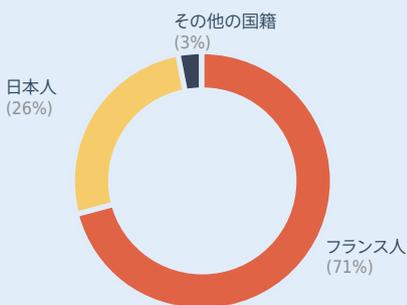
求人取り扱い数の
増加数 (2013年対比)

520

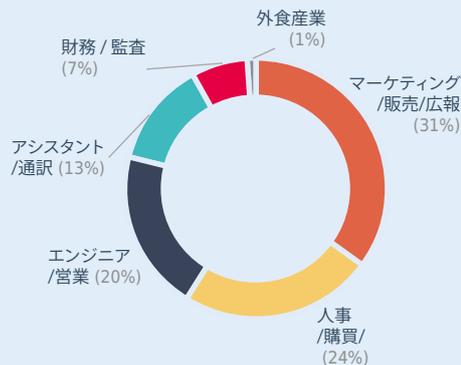
「求人・求職専用サイト」に
新規登録した
求職者の登録数

↓ 人材紹介サービスに関するデータ (P.39)

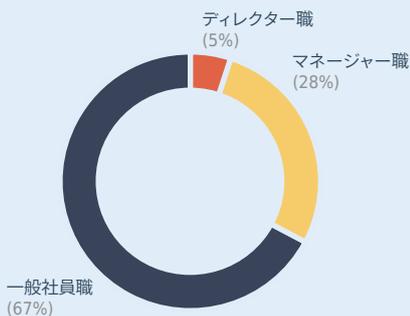
国籍別求職者プロフィール



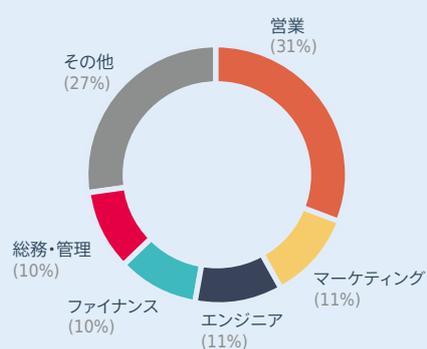
職種別求職者プロフィール



階級別募集求人プロフィール



職種別募集求人プロフィール



5.2. 人材紹介

人材開発部は、フランス企業の日本支社の採用活動を支援する為、15年ほど前に設立された。人材紹介業務には二つのミッションがある。

5.2.1 人材を募集する企業や求職者のために

1. 会員企業の現地採用活動支援
 - ✓ ニーズに合った候補者の紹介
 - ✓ ウェブサイトへの求人広告掲載
 - ✓ 求職者登録1000人以上のデータベースを管理
 - ✓ 採用後の企業及び候補者サポート
 - ✓ Bulletin Emploi (新規登録者情報)を毎月配信
2. 求職者の就職支援
 - ✓ 個別面談の実施
 - ✓ フランス人求職者への就職活動に関する助言
 - ✓ 説明会の開催
 - ✓ インターンシップウェブサイトの運営

これらの業務は、会員のニーズにより良く応えるという在日フランス商工会議所の方針に基づき行われている。

- ▶ 会員に対し低価格で高品質のサービスを提供
- ▶ 求職者登録の拡大
- ▶ 他の人材紹介会社の補完的な、質の高いサービス

5.2.2. 経済背景

日本の2014年平均失業率は4%以下で、労働市場は飽和状態と言える。日本人求職者は、知名度のある大手日本企業でのキャリアを好む傾向があり、フランス企業は日本人社員の採用においてより厳しい環境に置かれている。さらに、日本人学生の「型どおり」の就職活動は、外資系企業にとって追い風とは言えない。

同時に、来日するフランス人就職希望者は増えている。しかし、採用過程において日本語の習得レベルは重要な選考基準であり、非常に高いレベルが求められており、また、日本人雇用者は未だ保守的な労働市場を取り巻く環境において、日本人を好む傾向にある。その為、日本語が母国語でない求職者の就職は非常に困難である。

同部データベースへの日本人の登録はまだ少なく、在日フランス商工会議所はフランス企業のニーズに応えるべく、日本人求職者への知名度を向上させる必要がある。

5.2.3. 人材開発部戦略

- ✓ 料金設定と、他の人材紹介会社の補完的なサービスという位置づけを維持
- ✓ 会員及び求職者への知名度の向上
- ✓ コミュニケーションツールの改善: Bulletin Emploi (新規登録者情報)、ウェブサイト等
- ✓ 求職者データベースの充実化
- ✓ サービスの質の向上

在日フランス商工会議所は、2014年11月に労働局へ職業紹介事業許可を申請した。2015年中に手続き完了予定である。

▶ コメント

「在日フランス商工会議所の効率的で質の高い人材紹介サービスのおかげで、新しい営業部長を採用することができました。打合せの1週間後に候補者を一人紹介されたのですが、その最初の候補者がぴったりの人材でした! 時間を短縮できました。」

Edenred Japan 代表取締役 ローラン・ガシェ氏

5.2.4. 2014年成果

求人

人材開発部が2014年に取り扱った求人案件は130件であった。2013年比で18%増加した。

うち成立に至った案件が20件で、成立件数では2013年に比べ減少したが、1件あたりの平均収益は前年を上回った。

求人側の国籍に関するニーズは、ここ数年同様の傾向が見られる。日本支社代表や、フランス本社とのやり取りが頻繁なポジション（経理や企画、本社の方針や企業文化の取次を担うポスト）については、フランス人が優先され、その他のポジションについては、顧客対応や社内のやり取りの点から、概ね英語を話す日本人が優先される。

会員企業の求人広告は、匿名で人材開発部求人サービスサイト(www.ccfj.or.jp/BE)に掲載している。

求職

人材開発部は、主にフランス人及び日本人向けに求職者登録を受け付けている。(ただし、その他の国籍の求職者の受付も認めている。)

2014年は、520人の新規求職者登録があった。

- ✓ フランス人410人
- ✓ 日本人110人

そのうち202人と個別面談を実施した。(フランス人142人)

2014年は、20人が採用に至った。

インターンシップウェブサイト

在日フランス商工会議所では、会員企業のニーズに応えるべく、インターンシップ生を探す手段として、2010年9月からウェブサイト「CCIFJ Le site Stages」を運営している。

2014年の登録者数は413人(2013年309人)、13件のインターンシップ募集情報を掲載した。

日本ではインターンシップが定着しておらず、大学の教育課程に入っていない。その為、募集自体が非常に少ない。

↓ インターンシップウェブサイト



5.3. 研修セミナー

2013年の研修プログラムの好評を受け、2014年もほぼ同様のセミナーを提供した。

プログラムの決定は、以下の点を基準としている。

- ✓ 異文化の観点を重視したセミナーの選定
- ✓ 会員のニーズに応じた内容(テーマ、日本語でのセミナー、料金設定)
- ✓ 質・料金ともに魅力的なセミナーの提供を可能にする、研修機関及びパートナー企業との信頼関係
- ✓ ハイポテンシャルな管理職向けのプログラムを提供

2014年実績

4つの研修機関による計7回のセミナー(フランス語もしくは日本語、英語による1日限りの研修)に、会員企業25社から53人が参加した。

- ▶▶ 2月20日 プレゼンテーションスキル
- ▶▶ 3月31日 改善プロジェクトをリードする
- ▶▶ 5月27日 アサーティブなセールスと交渉スキル
- ▶▶ 6月17日 変革をリードする
- ▶▶ 10月7日 リーダーシップ
- ▶▶ 10月27日 日仏異文化マネジメント(日本語)
- ▶▶ 10月29日 日仏異文化マネジメント(仏語)

16名が2014年グローバル・マネージャー・プログラムに参加
パリ商工会議所(CCIP)と共催で、前年に続き2回目の開催となった。ミニMBAともいえる本プログラムは、マネジメントの主要テーマを取り上げ(5テーマ×2日間)、ESCPヨーロッパビジネススクールから招いた講師によって、英語で行われた。

プログラム内容

- ▶▶ 2月24、25日 チームの動機づけ
- ▶▶ 3月12、13日 戦略マネジメント
- ▶▶ 4月15、16日 マーケティングマネジメント
- ▶▶ 5月14、15日 リーダーシップとコーチング
- ▶▶ 6月3、4日 財務会計と財務分析

6月4日のプログラム終了後、修了証書授与式が行われた。

▶▶ コメント

「グローバルな視点に立った、質の高い研修でした。参加者の業種も様々で、非常に有意義な交流の場になりました。」
グローバル・マネージャー・プログラム2014に参加した
ウェンデルジャパン 代表取締役社長 川田 真氏



「Gateway to Europe」プロジェクト

2014年に新しい研修プログラムの企画がスタートした。日本人管理職を対象としたプログラムで、フランス及びヨーロッパ流ビジネスの理解を目的としている。全日程フランスで実施し、プログラムは講義やワークショップ、企業訪問等の構成となる予定。

2014年は、年間を通し会員企業106社が在日フランス商工会議所のセミナーに参加した。(2013年比+14%)

5.4. 人事ネットワークの活性化

人事ネットワークの活性化は、人材開発部の重要な業務の一つである。人事部の部長やマネージャーに対し、業務に関連するテーマについての意見交換や、交流の場を提供している。

人材開発委員会

人材開発委員会は、これまでの企業の人事分野における経験やノウハウを共有する場として、人事関係者のみならず、テーマに関心のある一般社員の参加者からも好評を得ている。



委員長：中山 多美恵
(ヴェオリア・ウォーター・ジャパン株式会社)
(2014年9月より)

2014年は、人材開発委員会のイベントを3回開催し、88人が参加した。

- ▶▶ 4月18日 「60歳以上の雇用に関する新たな課題」
ベーカー&マッケンジー法律事務所 ジャン＝ドゥニ・マルクス氏、
アムンティ・ジャパン 人事部長 畑ひとみ氏、
サンゴバン 人事部長 山崎 雄一氏
- ▶▶ 6月19日 「ローパフォーマンスをいかに管理するか？」
アクサ生命保険 執行役員 人材開発本部長
イザベル・コント・リエナール氏、
同社 執行役員 デピュティ・ジェネラル・カウ
ンセル兼法務部長 千種 道夫氏、
同社 人材開発本部 報酬企画課
マネージャー 山下 由香里氏 
- ▶▶ 10月10日 交流会 参加企業15社 

フランス語による科学シンポジウム

在日フランス商工会議所は、国内のフランス系研究者団体とともに、「フランス語による科学シンポジウム (Journée Francophone de la Recherche)」の開催に携わった。

1997年に、在日フランス大使館とフランス国立科学研究センター (CNRS) が始めた本イベントは、フランスと関係した研究や開発に携わる人たちを集め、プロジェクトや採用、共同研究を促進することを目的としている。

在日フランス商工会議所は、2014年11月21日に開催された第18回となるイベントに共催し、「日本における若手研究者のキャリア」をテーマとしたパネルディスカッションの司会を務めた。



5.5. 企業と大学の架け橋

採用支援の一環として、在日フランス商工会議所は日本の有名大学とのネットワーク作りを行っている。



フレンチビジネスキャンパス2014

2014年10月28日、共催者である明治大学のキャンパスにおいて、会員企業向けに3年連続となるフレンチビジネスキャンパス2014を開催した。本イベントの目的は、日本人学生へのフランス企業の評判と知名度の向上と、日本人学生へのフランス企業におけるキャリアプランの紹介である。

2014年

11大学に対しイベントの宣伝を行った：明治大学、東京大学、東京工業大学、東京理科大学、法政大学、慶應義塾大学、早稲田大学、上智大学、国際基督教大学、拓殖大学、東京外国語大学

上記大学から、250人以上の学生がフレンチビジネスキャンパスに来場した。

開催にあたり、今年初めてフランス政府留学局・日本支局 (Campus France) と提携を結んだ。(プロモーションツアーへの参加、フレンチビジネスキャンパスでのスタンドの提供、双方のイベントの宣伝協力)

会員企業12社がイベントに参加：アコーホテルズ、アクサ生命保険、ダノンジャパン、ル・コルドン・ブルー・ジャパン、LVMH モエ ヘネシー・ルイ ヴィトン・ジャパン、日本ミシュランタイヤ、ペルノ・リカール・ジャパン、リシュモン ジャパン、サンゴバン、シュナイダーエレクトリック、エスティーヴィージャパン、ヴェオリア・ウォーター・ジャパン

講堂では各社10分間の企業紹介を行い、企業ブースでは少数グループで学生との面談を行った。

フランス企業における人事をテーマにしたパネルディスカッションには、富田直子氏(ペルノ・リカール・ジャパン)、中山 多美恵氏(ヴェオリア・ウォーター・ジャパン)、石澤千夏氏(日本ミシュランタイヤ)、種村尚氏(アクサ生命保険)、和田哲氏(シュナイダーエレクトリック)が参加し、在日フランス商工会議所森山 徹が司会を務めた。



日本の大学で説明会開催

2014年7月9日、在日フランス商工会議所は上智大学にて約50人の学生に対し、商工会議所の活動や採用支援についての説明を行った。本説明会は、学生が将来転職を考えた際に、フランス企業の多様性やダイナミックさに関心を持ってもらうことを目的に開催した。

6. 商務部

6.1. 総括

フランス中小企業への充実サポート

商務部の2014年の活動では、合計161件のサポートサービスが提供された(2013年は151件)。ビジネスの成功要因は継続的なアプローチにあるという原則に基づき、フランス企業のそれぞれのニーズに合わせた個別のフォローアップサービスを提供しており、2014年はこうしたサービスに対する要望が増加した。

161

サポートサービスの
実施件数

14

ビジネスセンターの
受け入れ企業数

22

日本ミッションのプロモーションで訪問
したフランス国内の商工会議所

サービスサポート実施件数 (2009-2014)



団体ミッション件数 (2009-2014)



6.2. ミッション

商務部の活動は、日本市場におけるビジネス展開を希望するフランス企業のニーズに応えることであり、特に日本市場においてフランス企業が行う最初のアクションとしてのミッションを数多く行っている。

商務部の業務は、各企業のニーズに応じた企業サポートサービス（随行アテンド、通訳業務、ポテンシャル調査、マーケットリサーチ、顧客開拓ミッションの企画・実施、ビジネスフォローアップ、業務拠点提供など）を実施することである。

フランス商工会議所連合会（ACFCI）により、商工会議所ネットワーク「キャップ・ジャポン・コレ（CAP Japon/ Corée）」が設立された。日本・韓国市場での継続的な事業展開を検討するフランス企業を啓発・準備・サポートするために、フランス国内の商工会議所と在日フランス商工会議所をつなぐ業務手法と体系的なアプローチを構築している。

上記支援活動の枠内において、次のサポートサービスが提供されている。

- ✓ 各企業のニーズに合わせた市場調査
- ✓ 潜在的な顧客・企業・提携先の選定
- ✓ ビジネスミッションのオーガナイズ
- ✓ 継続的な企業支援サービス

案件の内訳比率は以下の通り

-	団体ミッション	25%
-	個別案件	75%

2014年の主要な活動について

以下の幾つかの例は、商務部の提供しているサービス分野が多岐にわたっていることを示す。

ノルマンディー商工会議所との連携による多業種ミッションの実施

同地域より10社が来日。初日の午前中は一般的な市場情報/日本の商習慣について学んだ後、2.5日間にわたり日本企業との個別面談を行った。

個別ミッションを実施したアルプ＝ド＝オート＝プロヴァンス県の企業は、先行技術分析用ソフトウェアに特化した企業で、その分野ではほとんど競合企業がおらず、3日間にわたったミッションでは、日本の大手企業のR&D部署との個別面談を数多く実施することができた。

ノール商工会議所との連携によるテキスタイルミッションのオーガナイズ

10月にテキスタイル関連企業8社が来日した。初日は一般的な市場情報/日本の商習慣について学び、店舗見学を行い、翌日から東京で2日、神戸（関西）で1日にわたりパートナー候補企業との個別面談を行った。

継続的な企業支援サービス

2013年に個別ミッションを実施したフィットネス製品製造企業の依頼により、同ミッションでビジネスが始まった日本のパートナーとのやり取りをよりスムーズにするために商務部が引き続き両社の仲介をすることになった。同部の担当者が1カ月につき3日間のサービスを提供している。

アルザス商工会議所との連携による食品ミッションの実施

同地域より関連企業12社が来日。初日は一般的な市場情報/日本の商習慣について学んだ後、店舗見学を行い、その後3日間にわたり日本企業との個別面談を行った。

2014年の団体ミッションの中で一番参加企業の多いミッションであった。

ミッションの参加者向けに最終日に実施している顧客満足アンケートにおいて、2014年は10点満点中、平均が7.6点であったが、これは商務部の提供するサービスのクオリティーの高さを示すものである。

▶ コメント

「商務部で実施してもらった個別ミッションにおいて、来日前の準備段階を含め、提供するサービスの信頼性、効率のどれをとってもその質の高さに大変感銘を受けた。」

2014年11月に個別ミッションを実施したアンテリクシール社 社長 ジャン＝ミシェル・カレイユ氏

6.3. リヨン市で神戸市企業誘致セミナー開催

商務部は、9月5日にリヨン市で神戸市の外資系企業誘致セミナーの開催をサポートし、進出に関心を持つ50社に及ぶフランス企業が参加した。



6.4. 業務拠点提供・受け入れサービス

フランス中小企業・製造業からの日本市場進出の要望に応えるため、特にVIE(国際企業ボランティア)を対象とした受け入れサービスを行うとともに、業務拠点を提供している企業に対しての支援・指導サービスにも力を入れている。2014年7月に弊所の3階に新しく6社分のスペースを設けて、合計で15社の受け入れが可能になった。

2014年に同サービスを利用した企業/団体は次の通り

シャンパーニュ ジャカール
デリフランス ジャパン
デジタル サーフ
フロミランジス
グループ デュフ
グループ タイヤン
IPDIA
イブセン ファルマ
ラティエールHトリバラ
ラメール プーラール
マヌア ケア テクノロジー
ソルヴィング エフェソ
レイル ヨーロッパ
ヴュルカン セルヴィス



6.5. フランス領事館ネットワーク関連

2014年、日本市場に関心を持つ企業へ働きかけるため、在仏各地の商工会議所の協力により、日本ミッションへのプロモーション活動を以下の日程でのべ延べ22回行った。

- ▶▶ 1月3日 リヨン商工会議所商工会議所
- ▶▶ 2月25日 エソンヌ商工会議所商工会議所
- ▶▶ 2月26日 リヨン商工会議所 商工会議所
- ▶▶ 2月27日 モンペリエ商工会議所商工会議所
- ▶▶ 3月31日 イル・ド・フランス商工会議所
- ▶▶ 4月1日 ストラスブール商工会議所
- ▶▶ 4月2日 ノール商工会議所
- ▶▶ 4月3日 ノール商工会議所
- ▶▶ 4月24日 マルセイユ商工会議所
- ▶▶ 4月28日 グルノーブル商工会議所
- ▶▶ 4月29日 パリ商工会議所
- ▶▶ 6月18日 ノール商工会議所
- ▶▶ 6月19日 ノール商工会議所
- ▶▶ 10月1日 パリ商工会議所
- ▶▶ 10月2日 ペイ・ドゥ・ラ・ロワール商工会議所
- ▶▶ 10月3日 サントル商工会議所
- ▶▶ 11月18日 オーヴェルニュ商工会議所
- ▶▶ 11月19日 アン商工会議所
- ▶▶ 11月20日 アキテーヌ商工会議所
- ▶▶ 11月24日 パリ商工会議所
- ▶▶ 11月25日 ヴェルサイユ商工会議所
- ▶▶ 11月26日 エソンヌ商工会議所

7. パートナー

7.1. 欧州ビジネス協会への参加

欧州ビジネス協会 (European Business Council、以下EBC)は、40年以上前から日本-欧州間の経済・貿易関係の発展のために活動している。

現在、ダニー・リスバーク氏が、EBC会長を務めている。
在日フランス商工会議所 第一副会頭ミッシェル テオヴァル氏が、2014年EBC (EOB) 執行評議会に在日フランス商工会議所代表として出席した。

自由貿易協定 (FTA)/経済連携協定 (EPA)

2014年度、日・EU間の自由貿易協定 (FTA)/経済連携協定 (EPA)のグローバル合意に向けた交渉が以下の通り5回行われた。

1月27日～31日 於ベルギー・ブリュッセル
3月31日～4月4日 於東京
7月7日～11日 於東京
10月20日～24日 於ベルギー・ブリュッセル
12月9日～16日 於東京

2015年2月下旬と4月 (2015年4月/5月に予定されている日本・EUサミットの前)に、新たに交渉が行われる予定で、その2回の交渉により話し合いが2015年中にまとまるか、2016年にも続ける必要があるかが、決定される可能性がある。

EBCが日本の省庁や政治家を訪問するキャンペーン「ドアツードア」は、12月の衆議院議員選挙のため実施できなかった。このキャンペーンの目的は、関係省庁の高級官僚や政治家と直接会談し、欧州ビジネスマン、企業及びEBCの活動に参加している商工会議所の立場への理解を求めることである。

EBCの活動

EBCは、自由貿易協定 (FTA)/経済連携協定 (EPA)や日・EUビジネスラウンドテーブルの準備を行った。

2014年第一四半期、日・EUビジネスラウンドテーブルのメンバーとEBCの委員会に貢献する「作業部会A」が行われる際に、EBCが欧州サイドのために書類準備の調整を行った。EBC会長が作業部会の共同議長を務めた。

第四四半期は、EBC白書の作成や、ルーマニア、リトアニア、ブルガリア等の商工会議所に対しEBCの入会に向け大使館訪問が行われた。2014年はメンバーの新入会はなく、ギリシャがEBCを退会した。

1年を通じてEBCは、欧州各国の決定権等を持つ重要人物訪問の際、会談を行った。



2015年、在日フランス商工会議所のロゴが新しくなりました。

在日フランス商工会議所は2015年1月、ロゴを刷新致しました。またフランス語の正式名称は、これまで通りLa Chambre de Commerce et d'Industrie Française du Japonですが、新たに省略名称のCCI France Japonを併用致します。今回、同ネットワークの一体感を一層高めることを目指し、フランス国内外のフランス商工会議所のロゴ、表記方法を統一することになりました。在外フランス商工会議所連合会 (La CCI France International)のネットワークは現在、世界82カ国、112のフランス商工会議所の拠点を有し、30,000社以上の企業が在籍しビジネスを展開しています。これからも会員企業に様々なサービスを提供し、フランスとのビジネス関係及び交流を促進していきます。

7.2. 日本のパートナー、関連団体

在日フランス商工会議所は、日本国内の日仏関連団体と連携し、常に日仏経済会発展に取り組んでいる。

日仏経済交流会(通称パリクラブ)

日仏経済交流会(通称パリクラブ)は、その事務局を提供する在日フランス商工会議所の発意により1993年に創設され、フランスとの経済活動に従事し、或いは従事した、フランス語を話し、フランス最員の、日本人ビジネスマン及びビジネスウーマンが集う。

パリクラブには現在250人(内15人は名誉会員)の会員がいる。

名誉会長	磯村尚徳	(日仏メディア協会、通称TMF)
参与	関本勘次	
	久米五郎太	
	綿貫健治	(城西大学)
会長	瀬藤澄彦	(帝京大学)
副会長	中川正輝	(EHESS Paris)
	横山悠喜	(日仏会館)
	高橋衛	
	小山武正	
事務局	宮原英男	(大林組)(会長代行兼任)
	山崎亜也	(住友商事)
	森由美子	(チュニジア大使館)
	坂本明	(グラムスリー)



理事30名、監事2名

2014年には、パリクラブと在日フランス商工会議所は、9件の経済及び又は文化イベントを共催した。

- ▶▶ 1月28日 「フランス料理と震災復興支援シンポジウム」
フランスの牡蠣が日本の牡蠣を救う
- ▶▶ 3月26日 講演会「海苔の美学(おいしさ)とワインとの体験」
- ▶▶ 4月8日 講演会「続パリのモーツァルト」及び「パリのモーツァルト—その光と影」出版記念パーティー
- ▶▶ 4月23日 第61回日仏ランデブー「フランスは2014年の世界情勢をどう見ているか」
- ▶▶ 6月4日 見学会「江戸の伝統、浮世絵の絵刷り作業体験」
- ▶▶ 6月26日 講演会「ケベック州:世界に開かれた北米のフランス語圏社会」
- ▶▶ 10月3日 講演討論会「アベノミクスと日本経済～フランス日刊紙特派員の診断」
- ▶▶ 10月17日 「第2回ワインブラインドテイスティング大会」
- ▶▶ 11月13日 「講演会「フランス料理の視点での日仏間の経済的緊密化とその発展」

関西フランス会 (CFK)

東京以外の団体との関係強化と新たな関係構築のため2008年以降、関西フランス会と協調を強化し活動を行っている。2014年引き続き関西フランス会のイベントの案内を在日フランス商工会議所の会員に発送し、参加をよびかけた。

関西フランス会の例会は、11回開催された。現在、関西フランス会は12人のフランス人と44人の日本人、合計56人の会員で構成されている。

会長 品川芳洋 (三起商行株式会社(ミキハウス)
関西国際大学)

- ▶▶ 10月10日 関西フランス会年次総会・懇親会
関東以外担当理事、アーノー・ラストゥール氏が在日フランス商工会議所代表として出席



日仏会館

2004年以降、日仏会館の経済に関するランチセミナーに協力している。ランチセミナーの案内を在日フランス商工会議所会員に発送し、参加をよびかけた。このセミナーは英語で開催される。2014年、8回開催された。

日仏会館フランス事務所 研究所長 クリストフ・マルケ

- ▶▶ 1月23日 *Japan's Energy Policy in Japan after 3.11*, Judith Stalpers
- ▶▶ 2月28日 *Abdelhafid Hammouche - Japan is not Exempt from Migration Debates*, Hélène Le Bail,
- ▶▶ 3月14日 *Globalization and Maritimization: Are Regional and National Maritime Policies Up to the Challenge? The case of Europe and East Asia*, Yves Henocque
- ▶▶ 4月25日 *Japan's Security Policy: Rules and Reality Since 9/11*, Kacem Zoughari
- ▶▶ 5月29日 *The Complementary and Alternative Roles of Expatriates and Flexpatriates: A Qualitative Study of 47 French MNCs in Asia*, Bruno Amann, Jacques Jaussaud, Johannes Schaaper
- ▶▶ 6月27日 *History as Present in East Asia: A Geopolitical Perspective*, Karoline Postel-Vinay
- ▶▶ 10月10日 講演会「日本の中の多様性: 多文化家族の教育経験」 渋谷真樹
- ▶▶ 12月5日 講演会「日本における国際結婚の動向: ハーグ条約の視点から」 嘉本伊都子

CCI France Japon
在日フランス商工会議所

102-0085 東京都千代田区六番町5-5

Tél. 03-3288-9621

www.ccifj.or.jp